

# YU ME 夢

私は名古屋、福岡、大阪池田、東京西荻窪、東京国立、京都宇治、再び国立と移り住みました。そして、ある思いがあつて夫婦で長寿園に入居しました。もう八年も過ぎ、すっかり小田原市民になりました。

夫婦それぞれ自分の好きなことを愉しみつつ、年数回旅行もし、温泉連泊もして、平穩に生活していました。しかし昨年五月末、「カーブス(女性専用体操教室)」へ行くため、マイクロバスの一便で出かけました。下車する時、「アレ、いつものようにサッサと降りられない」と感じたものの、まだ時間は、たつぷりあるので、ゆっくり歩い

**も く じ**

アレ?おかしいと思つたら……………1  
 終の棲家・川柳……………2  
 タイムトラベル・短歌……………3  
 長寿園の日々……………4



高津様ご夫妻

## アレ?おかしいと思つたら 気づきと素早い対応

入居者 高津 和子

て行きました。一〇時近くになつて、今日はカーブスへ行くのはやめて帰ることにしました。

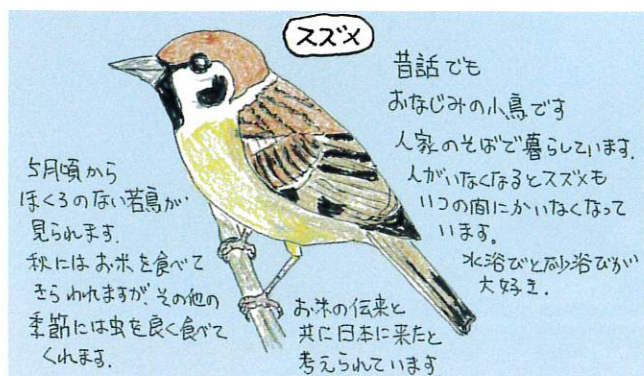
長寿園に着いて一言しゃべつたら、呂律がおかしかった。①近くにいたKさんが気づいて、「高津さん少しヘンです」と受付の人に伝えて下さり、②すぐにヘルパーさんが来て下さつた。この①と②の事実を知つたのは、退院して、しばらく経つてからでした。その時、私はラッキーなことにヘルパーさんがたまたまいて下さつたとばかり思っていました。Kさんに感謝しています。命の恩人です。ヘルパーさんに車椅子に乗せられて、長寿園の診療所へ。診察の結果、すぐに小沢病院へ行くように言われました。ヘルパーさんと夫とともに車で駆けつけました。急患で診ていただきました。医師からいろいろ話があつたようです。私は「一ヶ月の入院」の言葉しか覚えていません。昼前、病室に入つて、すぐ点滴が始まり絶対安静となりま

**長寿園理念**

「人生の目的は円満幸福の生活にある」との信念に基づき  
 高齢者がそれぞれ円満で幸福な生活ができるよう所要の協力と支援を行うことによつて社会に貢献します。

【発行所】  
**一般財団法人 長寿会**  
 小田原市入生田475  
 TEL.0465-24-0002(代)  
 発行人/加藤 伸一  
 編集/「夢」編集委員会





〈職員奥様より〉

した。皆さんに助けられて、素早い適切な対応で二六日間の入院で後遺症もなく、元気になりました。

安全安心の長寿園で、本当に良かったと心から思いました。感謝、感謝です。

これからもキャンパスおだわら学習講座を時々受けたら、カブスに行ったり、市民会館大ホールで開催されるコンサートや八月の「外郎売口上大会」に出かけたり、一〇月には阿弥陀寺の十夜大祭に参加したり等々。小田原ライフを心豊かに前向きに暮らしたいです。

## 終の棲家

ご入居者家族 原田様姪御様

叔父が一大決心をして長寿園に入居させて頂いてからあつという間に一年半が経ちました。

川崎で生まれた私の父と叔父とは一卵性双生児で顔も体格もウリ二つ、幼い頃の私はどちらが父だか分からず、よくからかわれました。

叔父夫婦には子供がいなかったこともあり父を亡くした後、何かと似ている叔父が父の面影と重なって、叔母亡きあとの叔父の一人暮らしを傍で見守って来ました。

原田家は叔父(父)が一六才の時に横浜の高台の家に引っ越し、以来九〇才になる迄七四年間も同じ場所で暮らしてきました。

歩行も問題なく、高台のため九〇才まで原付バイクで買い物に行っていた叔父ですが、流石に食事や身の廻りのことが億劫となり、どこか良い施設に入りたいと相談を受けて老人ホームを二人で見学に歩きました。長



左から著者父・妹・著者松島紀子・原田早苗様

年住み慣れた家を離れる決心を叔父がしたことは大きな驚きでした。とても自宅に愛着を持っていたからです。

長寿園を訪問させて頂いて、職員の方々がとても親切で家庭的な雰囲気二人ともいっぺんに気に入って、直ぐ入居申込させて頂きました。当初、施設での生活に馴染めるか心配しましたが、叔父が凄く居心地がいいと言います。書道、陶芸、コーラスと積極的に楽しんでる姿を見るたびに、職員の皆様のお陰様と心から感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願致します。

## 川柳

松本 正子

這い這いの兎にあやされて

いる卒寿

曾孫からカードはみ出す

祝い文字

田中 和子

初釜へ花びら餅の淑やかさ

ドンマイと卒寿のミスは

風に乗せ

青木 千代

たっぷりの時間ゆったり

花を掛け

新緑へどう付き合うか

痛む腰

小池 怜子

隠居した山懐に湯はあふれ

サヨナラの尾灯が潤む

ロータリー





# タイムトラベル



創立六三年の長寿園では、時代の変化と共に様々なことが変わりました。その様子を理事長と職員との対談を通し、今後シリーズでお伝えしようと思えます。第一回目は夏祭りについて。対談者は勤続三六年を超える楠元職員です。

**進行** 昔の夏祭りの様子を教えてください。

**理事長** 一般で行われていた盆踊りにご入居者が参加出来なかったので、園でも盆踊りをやるうという事で始まって基本的には盆踊りだけ。ですので、踊る人が多かったですね。

**楠元** 当時は長寿園だけでなく、今の箱根山荘、陽光の園と三施設合同でやっていたのですが、なにしろ人数も多かったんです。盆踊りしかやっていなかったですね。外部の方も結構参加されていたので、賑やかでしたね。

**理事長** 入生田の婦人部を呼んで来てもらったりして。入生田は丁度その頃に子供囃子が復活し

ていて、長寿園にも来てくれた。アトラクションを始めるようになったのはそれから。あと、その頃に一度テレビの取材があつて、それが放映されてから一段と活気づいて、屋台なども始めるようになったわけですね。

**楠元** そうですよ。外部の方が来ては喜んでいましたね。あと、夏祭りといえば、ご入居者が職員と一緒にお神輿を作ったりしていましたね。

**進行** 昔と今と比べて変わったなと思う点などありますか？

**理事長** 介護保険制度ができて



きてから少しづつ変わってきましたね。寿命も延び、入居される方の年齢が大きく変化してきたように思います。

**楠元** 今はご入居者が観客みたいな感じになってきた風にみえますね。

**理事長** 当時はご入居者が主役の行事だったのに、今は見せる夏祭りになってきたように感じます。

**進行** 今後の夏祭りに対しての思いなどお聞かせ下さい。

**楠元** やっぱりご入居者が主役の参加する夏祭りの方が、良いように私は思いますね。

**理事長** その通りのような気がします。長寿園は基本的には参加型、「自分たちで」というのが根本で、そこは今でも変わらない。ご入居者を中心に物事を進めないといけないと思います。職員は支援、サポートする立場であり、主役はご入居者ですから。

**進行** 有難うございました。

夏祭りが始まったきっかけなど、大変興味深い話などが聞きました。ご入居者が「主役」という思いは今も昔も変わらず続いているのですね。

今回はどんな話が出てくるのか楽しみです。

進行 脇田伸博

## 短歌

鈴木芳子

夕映えに湖面を染めし

余呉の海島影うつし

その影をひく

故里の加賀梨食めば

送りこし若き日の

友の笑顔が浮かぶ

小池怜子

目も腰も悲鳴をあげて

いるけれど振り払えない

ネットサーフィン

山並みに霧立ちのぼる

夕暮れはふと懐メロが

頭をよぎる

田川富子

ラウンジへ各地の銘菓

お取り寄せほつとサロンで

味比べする

小田原を終の住処と

して七年駅伝の旗

七本貯まる



# 長寿園の目々

- 二月 三日 豆まき
- 三月二九日 春の行楽ロングコース
- 四月 一日 春のバイキング
- 四月 五日 春の行楽ショートコース
- 四月二三日 コーチャル歌声の部屋
- 五月一三日 春の運動会
- 五月一四日 母の日の集い
- 五月二九日
- 三〇日 C棟行楽



運動会



豆まき



運動会



ショートコース



運動会



ロングコース



C棟行楽



母の日の集い



〈笠井ヘルパー〉

四月から公開となった「旧吉田茂邸」では立派なお宅やお庭にただただ感動いたしました。「旧三井邸」からの景色が素晴らしいと聞き車椅子の方と急な山道を登りました。その際「上り坂を押してくれるのは大変だったでしょう？一人では来られないところに連れてきてくれてありがとう。すごく綺麗で気持ちが良いわ」と言ってくださいます。園内で見える表情とはまた違った皆様の表情を見る事ができとても楽しく、幸せな時間でした。

職員 笠井由加梨

## 編集後記



夢編集委員会

幸運の象徴、ツバメ。今年も長寿園で入居者の皆様に見守られながら子育てし、頭に産毛の生えたヒナも今は賑やかに飛行訓練中です。ツバメが巣を作ると、自然から「認められた」気がしますね。また来年お待ちしております！



岩本ヘルパーが二十歳となり成人式を迎えました。



椎野係長、木南係長が今年ご結婚されました。

おめでとうございます。